

令和2年度厚生労働省子ども・子育て支援推進調査研究事業
児童虐待対応におけるAI利用に関する調査研究

第二回検討委員会議事録

日時：令和3年1月13日水曜日 18時から20時

場所：TKP 東京駅日本橋カンファレンスセンター ミーティングルーム 215
(東京都中央区八重洲 1-2-16TG ビル)

オフラインとオンラインの併用開催

出席者： ※はオンライン参加

委員長 山本恒雄 愛育研究所 ※

委員 渡邊直 千葉県柏児童相談所

委員 出路幸夫 川崎市こども未来局 児童家庭支援・虐待対策室 北部児童相談所 ※

委員 多田基哉 山口県健康福祉部 こども・子育て応援局 ※

委員 田中淳一 中野区子ども家庭支援センター

委員 福田滋 大阪府吹田子ども家庭センター ※

委員 佐藤剛 東京都品川児童相談所

委員 薬師寺真 岡山県保健福祉部 子ども家庭課 ※

委員 清水正哉 三重県南勢志摩児童相談所 ※

説明補佐 宮崎太一 三重県南勢志摩児童相談所 ※

委員 鈴木聡 三重県児童相談センター ※

傍聴者 内山忍 三重県子ども虐待対策・里親制度推進監 ※

傍聴者 脇田委子 三重県児童相談センター ※

傍聴者 大野久 厚生労働省 子ども家庭局家庭福祉課

傍聴者 久保隆 厚生労働省 子ども家庭局家庭福祉課

事務局 高岡昂太 株式会社A i C A N

事務局 橋本笑穂 株式会社A i C A N

資料：

資料1： 第一回検討委員会議事録

資料2： 三重県におけるAIを活用した児童虐待支援システムの導入について

資料3： 全国調査結果報告

1. 開会

2. 第一回検討委員会の議事録確認

資料1に基づいて、第一回検討委員会議事録が承認された。

3. 議事

(1) 情報提供「三重県におけるAIの導入活用の状況」（清水委員・宮崎説明補佐）
清水委員と宮崎説明補佐より、資料2を用いて、三重県におけるAI導入の背景、経緯、導入後の状況について、情報提供された。

(2) 全国調査集計結果報告
事務局より、全国調査の集計結果（資料3）が報告された。

(3) 意見交換
三重県のAI活用状況や全国調査集計結果報告に関して、次の論点で委員の意見交換を実施した。

○児童相談所のおかれている状況について

調査結果に基づき、児童相談所のおかれている状況を分類し、タイプごとの考察を行う必要がある。（タイプによって解決すべき課題が異なる。）

○一時保護の要否判断など緊急性の判断について

リスクアセスメントの結果は一時保護要否判断の判断材料である。現場ではリスク以外の要素を加味して総合的に判断しているため、リスクアセスメントの結果を基にAIが算出する結果は参考情報である点に注意する必要がある。

○ICT導入状況および電子データの蓄積・活用の状況について

今回の調査で回答されている業務システムは児童相談所に設置されたデスクトップ端末などが前提となっている。現場の負担を考慮するとデバイスへの入力の手軽さが重要となるが、タブレット端末などの利用にはセキュリティの制約が大きい点に留意する必要がある。

○AIの利用について

児童虐待対応におけるAI利用が効果を上げるためには、配布するだけでは不十分で、段階的な導入、定着、活用、発展のプロセスの設計が重要となる。

(4) 今後のスケジュール
令和3年2月16日 第3回調査委員会（調査報告書案の検討）

4. 閉会

以上